

かのん

愛媛交響楽団広報誌第26号

平成13年12月発行

作成担当：オーボエパート

記事の目次

- 1頁 河野国光団長県功労賞受賞
中田勝博先生還暦のお祝い
- 2頁 指揮者インタビュー
愛響とインターネット
- 3頁 ソリストインタビュー
新入団員紹介
- 4頁 オーボエの〇〇〇



10月24日、河野国光団長が県功労賞を受賞されました。この賞は県勢伸展に貢献した個人、団体に贈られるもので、愛響を創設され団長として、また奏者として永年にわたり団の運営、発展に貢献されたことが評価され今回の受賞となりました。11月11日午後6時半より大手町のJALシティ松山のスタールームを会場に、団長と奥様をお招きし団員、旧団員ら35名ほどが集まり祝賀会が開催されました。開催に先立ち元事務局長山田卓氏、コンサートマスター岩井倫郎氏からお祝い

河野国光団長 県功労賞を受賞

の言葉があり、団創設の苦労話などが述べられました。続いて団長より受賞の挨拶をいただき、岩井先生らの弦楽合奏を通りすがりにたまたま聴いたことが、愛響を創る切っ掛けになったことなどを話されました。旧団員として篠原さん、大中さん、秋山さんらがこられ昔話に花が咲いたようです。会の後半では有志による木管アンサンブル、弦楽四重奏が、披露され会場を沸かせました。

中田勝博先生 還暦のお祝い

去る9月24日(月)午後6時より、三番町のホテル、シャトーテル松山10階大ホールにて、中田勝博先生の還暦の祝賀会が開催され、愛響団員の中から30名程の参加がありました。開催に先立ち河野国光団長からお祝いの言葉が述べられ、続いて岩井倫郎先生、クラリネットの山崎潤さん、ファゴットの太野智也佳さんから祝辞がありました。その後出席者からの記念品として赤いトレーナーが送られました。会は終始和やかな雰囲気で行われ、途中岩井先生を中心とした弦楽四重奏とアンサンブル蔵(木管六重奏)によるお祝

いの演奏が披露されました。



創立30周年記念誌タイトル募集! (締め切りは2001年12月31日)

来年の創立30周年記念行事の一つとして記念写真集の編集が始まりました。今までの愛響の歴史を振り返る写真や、今の写真などを満載した楽しめる写真集にしたいと思っています。どこかの国の首相の写真集には負けないぞ!と編集委員一同張り切っています。すてきなタイトルを思いついたらすぐ編集委員までご一報下さい。賞品もあります! よろしくお願ひします。

編集委員・花岡直樹、西山誠、山下ひさ子、桑原ちえ子、太野智也佳、藤島昌澄

Q1. 指揮者とソリストとの違いはありますか？

ヴァイオリニストとしては本職なので責任が重く、構えてしまって怖いですね。良い意味で指揮の方が自由で、心に余裕があります。オケの立場として現場の意見として物が言えますし、組合の委員長が管理職になった強みみたいなものです。僕は現場に携わるものとして、出てくる音を聴きながら、その音をミックスさせていくことに関しては自身があります。指揮棒はもともとヴァイオリン奏者が弓を振ったことから始まったのではないのでしょうか。あと、指揮者として決して譲らない人、細かいことを指摘しあうネガティブな人もいますが、田中先生は人がやってきたことを否定しない、さばさばしていて、ヒューマニズムにあふれた珍しいタイプの指揮者だと思います。

Q2. プロコフィエフの選曲理由と曲に対する思いを教えてください。

一般的に、プロコフィエフは近代的なイメージを持っていると思われていますが、2番の Vn コンチェルトは他の曲とは全然違って、ロマンティズムが非常に感じられる素晴らしい曲です。初めて聴いたときにプロコにこういうところもあるのかと新たな発見をしました。本番で演奏するのは初めてですが、ずっとやってみたかった曲です。練習すればするほど、もっとこういう風にやりたい、もっとカンタービレでこうしたいと思う曲です。好きな演奏家はオISTRAフでそれまでのプロコフィエフのイメージをガラッと変えてくれました。



新入団員紹介

- ①楽器の経験年数および前歴 ②出身地 ③誕生日・星座・血液型
④好きな作曲家・作品 ⑤愛響へ一言



コントラバス 宇戸午朗さん

- ①学生時はジャズ・クラシックは10年程・千代田フィルハーモニー・奈良交響楽団②大阪府
③昭和32年4月3日 牡羊座 A型
④R・コルコフ：シェザール・プロコフィエフ：古典交響曲 メンデルソーン：イタリア
⑤ Vn が多い。金管が充実している。全体に音が大きく豊かな印象です。こ

のような素晴らしいオケで弾かせていただけて、大変うれしく楽しみです。皆さんの迷惑にならないよう指揮を見て、周りを聴いてしっかり合わせられるよう努力したいと思います。



コントラバス 佐藤秀人さん

- ①2年半②愛媛県松山市
③昭和52年11月28日
射手座 A型

④特になし⑤よろしくお祈いします



打楽器 小嶋直也さん

- ①打楽器10年②愛知県
③2月18日 水瓶座 A型
④アラーム 交響曲第1番

⑤愛媛に来てオケをやることができうれしいです。よろしくお祈いします。



オーボエの〇〇〇

さて、いきなり簡単なクイズです。上の〇〇〇にあてはまる言葉は何でしょうか？

ヒント1 フルートを除く木管楽器に絶対必要なもの。(木管の人、答えちゃダメよ)

ヒント2 1枚(または1本)あたりの価格2000円~4000円。

ヒント3 オーボエ、ファゴット奏者はこれを自作する。

ヒント4 寿命は3日~1ヶ月(休み休み使えば3ヶ月くらい?) おまけ カタカナ3文字

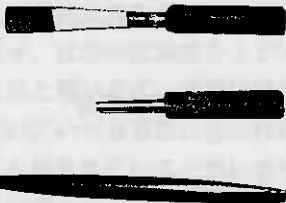
もうおわかりでしょうか、正解は**リード**です。上にある4つのヒントは、木管楽器以外の人にぜひ知ってもらいたい一般的なリードの特徴です。なにせ、これがないと木管楽器奏者は商売、いや演奏になりません。そして、とくにオーボエ吹きはこれに相当気を使っているのです。ちなみに今回のステージにのる愛響のオーボエ吹きは全員リードを作っています。自分の場合は最近サボリ気味ですが、大体1ヶ月に2,3本作ります。

オーボエ奏者のリードケースの中を見ると、大体20本前後のリードを持っていますが、その中のほとんどは、使えないものです。そんなものをなぜ大事に持っているのかというと、それらは、昔は本番で使う花形リードなのですが、寿命の関係で、使えなくなったものなのです。「そんなもの捨てちゃえば!!」という人もいるかもしれませんが、少し調整(ナイフで削ったり、ワイヤーを巻いたりする等)をすると、復活する場合があります。本番用のリードが割れたなど緊急事態の時に役に立ちます。

さてオーボエのリードの、サイズを測ってみました。

全長□mm、全幅□mm、重さ□g、

では上の□にあてはまる数字は何でしょう? 正解は筆者、また近くにいるオーボエ奏者のリードを借りて自分で調べてみてください。(嶋谷賢治)



オーボエ豆知識その1

左の写真の一番上がオーボエの完成リード。(薄墨製) 白い部分は空気を防ぐテープです。巻かない人もいます。

一番下のケーンを半分に折って真ん中のパイプに糸で結んで作ります。削り方は奏者によって千差万別。まさに職人技ですね。



オーボエ豆知識その2

上がイングリッシュホルンで

下がオーボエです。

よく見るとずいぶん違うものです。

編集後記

今回は、パソコンのスペシャリスト薄墨さんのお陰で、写真入りの素敵な「かのん」が出来ました。

2001年も早いもので後一ヶ月足らずですね。来年は愛響創立30周年、私達団員にとって節目となる大切な年です。

皆で協力して、団を盛り上げていきましょう。

次回の「かのん」担当は、クラリネット&ファゴットパートです。よろしくお願いします。

オーボエパート一同(岩田、薄墨、嶋谷、永野、広浜)